

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○9月11日～

先週のドル／円は147円台後半まで上昇し、高値圏を維持したまま取引を終えています。

介入警戒感はそれほど強くなく、150円を目指す動きが出る可能性があります。

昨年も9月、10月と強い動きが続いたので、昨年の高値を目指す動きが出るかもしれません。

株価が少し軟調な動きとなっているので、リスク回避的な動きが出ればクロス円も含めて下落していく可能性があります。

日本は急激な為替変動が続けば介入を匂わすような発言もしていますが昨年のような急騰とはなっておらず、円安が進む場合もじわじわと様子を見ながらの動きになりそうです。

今週は、米国では8月の消費者物価指数や卸売物価指数などの発表があります。

9月は日米欧で金融政策の発表があります。

今週は欧州中央銀行(ECB)が政策金利を発表しますが据え置き予想も多く、利上げとなればユーロは大きく動く可能性もあります。

米国も来週のFOMCで金利を据え置くという予想が多く、金融政策面では各国とも現状維持で様子を見るという姿勢に見えます。

日本が一番予想しにくいのですが金融緩和はどんな形でいつまで維持できるのか不透明感があります。

また、オーストラリアや英国なども利上げ終了の可能性が指摘されており、各国とも昨年から急ピッチで進めてきた利上げサイクルが終盤に入ってきている状況です。

もし、ここで日本が年内に金融政策を一部引締めへ転じるような動きに出れば、流れは一気に円高に転換する可能性もあるということです。

昨年高値付近まで円安が進んでいるだけに、あまり楽観的に考えて中長期的なポジションを持つことは危険です。

原油高、米国の長期金利の上昇など株価にとっては悪材料が多く、米国株の動きにも注意がいります。日本株も先週末は下げてきているため週明けの株価の動きも見ておきたいです。

先週は、中国が iPhone の使用制限を発表するなど米中の対立が今後もひどくなっていくと世界経済への悪影響が心配です。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル／円>

先週の終値は147円台後半と直近の高値付近で終わっています。

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

148円のせの可能性はありますが高いところを買うのはリスクが高いので、下がってきたところを買いたいです。

上値は147.9円を超えると148.8円あたりまで上昇するかもしれません。

昨年の週足を見るとこのあたりで2度高値をつけています。

下値は147円を割り込んでも144.5円を割り込むまでは高値圏での動きが続きそうです。

8月後半、9月初めに144円台半ばで2回ほど下げ止まっているためここを割り込むまでは買い戦略で考えたいです。

押し目買い狙いで、下がってきたらタイミングを見ながら買っていきたいです。

今週は、145-149円程度のレンジを意識しながら取引したいです。

<気になるクロス円>

クロス円は、通貨ペアによって動きが少し違います。

ユーロやポンドは高値圏での推移となっています。

ただし、8月後半から9月初めにかけてつけた高値を超えていくかどうかはわからないので、高値買いは避けたいです。上値が重いようにも見えます。

オセアニア通貨、カナダドルは停滞した動きが続いています。

トレンドがまだはっきりしないので、あまり大きなポジションは持たない方がよさそうです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では7月機械受注などがあります。

米国では8月消費者物価指数、8月月次財政収支、8月小売売上高、8月卸売物価指数、前週分新規失業保険申請件数、9月ニューヨーク連銀製造業景気指数、8月鉱工業生産、9月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで9月ZEW景況感調査、ユーロ圏で7月鉱工業生産、ECB(欧州中央銀行)政策金利発表、ラガルド・ECB総裁定例会見などがあります。

ほかには英国で7月GDPの発表などがあります。